

令和6年竹田市教育委員会第6回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年6月5日（水）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員 教育長 志賀 哲哉
1番委員 進 みづほ
2番委員 吉野 聖子
3番委員 岡 茂樹
- 4 欠席委員 4番委員（教育長職務代理者） 甲高 幸一
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 羽田野京子
学校教育課長 渡邊 幸美
生涯学習課長 藤島 勲
まちづくり文化財課長 佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長 甲斐 正寿
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐 古澤 邦利
- 6 議事日程 (1) 会議録の承認 第5回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
(4) 報告事項
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(1) 教育委員のその他の委員について
(7) 連絡事項
(1) 6月幼・小・中行事予定表
(2) 6月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 00 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況ですが、教育長及び委員 3 名出席、1 名欠席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それではただいまから、令和 6 年度第 6 回定例会を開会します。第 5 回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では会議録に署名をお願いします。 (署名)
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。教育長報告を申し上げます。5 月 7 日、竹田市教育委員会第 5 回定例会。8 日、九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会。9 日～10 日にかけて、第 74 回全国都市教育長協議会並びに研究大会。12 日、第 58 回九州高校女子ソフトボール大会閉会式。13 日、大分県租税教育推進協議会定期総会。14 日、第 3 回校長・所長会議、及び竹田市教育委員会マスコットキャラクター表彰式。16 日、文教警察委員会南部小学校訪問、及び竹田市租税教育推進協議会定期総会。17 日、竹田市 P T A 連合会定期総会。18 日、中学校体育大会、及び中川久定記念由学館賞記念講演会。20 日、第 1 回管内教育長会議、美術祭管内会議、及び第 46 回竹田地域町内対抗ソフトボール大会開始式。21 日、竹田市民教養大学開講式、及び大分県市町村教育委員会連合会総会。22 日、竹田市スポーツ協会評議会・第 1 回理事会、及び白丹地区自治会長会あいさつ。23 日、定例課長会議。24 日、令和 6 年度大分県危機管理研修会、菅生小拡大実行委員会、及び竹田地域町内対抗ソフトボール大会閉会式。27 日、令和 6 年廣瀬神社例大祭、及び教育支援センターサフラン推進協議会総会。28 日、竹田教育研究会全体会。29 日、第 72 回高校総体開会式。30 日、第 74 回社会を明るくする運動竹田市推進委員会、及び竹田人権・部落差別解消教育研究会第 47 回定期総会。31 日、竹田市人権啓発推進協議会役員会。6 月 3 日、久住高原農業高校運営協議会。4 日、直入中学校 P T A 意見交換会。そして、本日竹田市教育委員会第 6 回定例会。以上でございます。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。 進委員。
進委員	6 月 4 日の直入中学校の P T A 意見交換会について、少しどんな感じだったか、お聞かせ願いたい。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。昨日、6 時半から直入中学校の 2 階多目的ホールで、P T A との意見交換会を行いました。31 P 家庭のうち 12 家庭、14 名の方の参加で、吉野教育委員も

ご参加いただきました。ありがとうございました。そのうち7名の方から、ご意見やご要望いただきましたが、いずれも反対の意見でした。少ない人数でも充実した中学校生活を送れているので変える必要はないという意見ですとか、統合検討委員会を開催するなら公開してほしい。それから、令和7年度で終了する長期総合教育計画だが、出生数が年間65人であれば、1学年2クラスの中学校規模というのが、竹田市全体を集めてやっと達成できるぐらいなので、15年先の竹田市を見て進めないと地域ごとにばらつきがあつたりすると不信感を招いたり、地域分断に繋がるなどの意見をいただきました。昨日の意見を聞く限り、統合検討委員会の開催は難しいのかなと思う部分がありましたが、発言がなかった保護者ですとか、参加していない19家庭ですが、こちらの方が多いんですが19家庭の保護者の方の意見が聞けていないので、その方々がどのように考えているのかわからないというのがすごく残念でした。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。

進委員

はい。

志賀教育長

他にありませんか。それでは、次に移ります。本日の審議事項はありません。また、報告事項もありませんので、協議事項について、教育総務課長お願いします。

羽田野教育総務課長

本日お配りしております協議事項の資料、裏面の2ページをご覧ください。教育委員の皆様には、この表にありますように各機関からの要請によって、それぞれの委員に就任をいただいております。このうち、今回、6月にその任期を迎えるのが、5番の大分県共同募金会竹田市共同募金委員会運営委員及び審査委員です。加えて、進委員が4月1日から教育委員に任命されていることから、2番の竹田市男女共同参画推進委員会委員の選任についてご協議をいただきたいと思っております。委員選任にあたっては、これまでの基本的な考え方としまして、この表の左下に載せておりますが、教育委員は、均等に「その他委員」に就任すること、また、「その他委員」の任期期間中に教育委員の任期が満了した場合、後任の教育委員がそのまま引き継ぐこととなっております。このことから、佐藤委員が就任くださっていた2番の委員については、後任の進さんにこのまま引き継いでいただくこと、また5番の委員については、甲高委員が再任という形で就任いただくようご提案いたします。

志賀教育長

ただいまの説明に質疑等ありませんか。
では協議事項についてはよろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

次に、連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。

羽田野教育総務課長

連絡事項でございますが、(1)6月の幼稚園、小・中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。既に終わっている行事もございますが、6月3日、竹田小の不審者対応訓練。4日、南部小の不審者対応避難訓練。5日、都野小6年生の租税教室、及び直入小の学校出前コンサート。6

日、南部小の第58回ほたるおくり、及び祖峰小のグランツ竹田サックスピアノデュオ。7日、都野小のアウトリーチ公演。8日、竹田小第72回蛍おくり。11日、中体連球技・剣道大会、及び豊岡小の田植え。12日は中体連2日目。14日、祖峰小の文化キャラバン人形劇。17日、竹田幼稚園の避難訓練。20日、中体連陸上大会、及び20日から21日にかけて祖峰小・直入小のあ祖母学舎宿泊体験交流学习。21日、菅生小の水辺の体験、及び白丹小のサップ体験。27日、南部幼稚園の避難訓練、27日から28日にかけて白丹小・都野小のあ祖母学舎宿泊体験交流学习。28日、竹田小での第61回瀧祭。

続きまして、連絡事項(2)の6月教育委員会関係の日程(予定)表ですが、資料3ページをご覧ください。本日5日、教育委員会第6回定例会。6日、竹田市議会第2回定例会本会議、南部小の第58回ほたるおくり、及び白丹小学校PTA意見交換会。7日、学校職員安全衛生委員会。8日、竹田小の第72回友情の蛍おくり。11日から12日にかけて、竹田市中体連球技・剣道大会。12日、第1回竹田地区教科用図書採択協議会。13日・14日、議会一般質問。15日、大分県教組直入支部定期大会。17日、城原小PTA総務部との意見交換会。18日、第4回校長・所長会議。19日、議会本会議。20日、中体連陸上競技大会。22日、竹田高校関東同窓会第38回総会。24日、議会社会文教常任委員会、及び放課後子ども教室コーディネーター会議。25日、竹田市人権啓発推進協議会総会。26日、議会定例会閉会日、及び第2回行革本部会議。27日、定例課長会議。28日、竹田サイコーprojectタケタカタロー2。7月に入りまして4日、竹田市地域学校協働本部運営委員会、及び特別支援ネットワーク会議。5日、教育委員会第7回定例会。資料1ページに戻っていただきまして、(3)今後の主な予定でございます。①中体連球技・剣道大会が、6月11日・12日、火曜日・水曜日の二日間、竹田中体育館ほか各会場で開催されます。②中体連陸上大会は、6月20日、木曜日の午前9時から、竹田丸福陸上競技場において行われます。この①②の中体連関係は、昨年度と同様に委員の皆様のご都合に合わせて、個別での対応といたしますのでよろしくお願ひいたします。③第7回の教育委員会定例会は7月5日、木曜日、15時から本庁議室を予定しております。④第8回定例会は、8月5日の月曜日、15時から同じくこの会場で開催予定です。連絡事項については以上であります。

志賀教育長

質疑等ありませんか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

連絡事項についてはよろしいでしょうか。それでは、各課からお願いしたいと思ひます。まず、教育総務課長。

羽田野教育総務課長

教育総務課からは、学校統合に関する状況についてお知らせいたします。昨日の直入中学校の意見交換会については、先ほど進委員からの質問がありましたので、省略させていただきたいと思ひます。それから、明日、白丹小学校で同じくPTAとの意見交換会を行います。白丹小学校については、不成立となった統合検討委員会の課題について説明を行い、具体的な内容を決めていくための統合検討委員会設置に向けて説明を行う予定です。また、5月22日に行った白丹地区自治会長会の挨拶の際に「今回の資料を説明する機会が無いので、全戸に配布してほしい」という意見がありましたので、6月の自治会長あて文書

入れにおいて、白丹地区 263 戸に対して「白丹小学校の今後のあり方について」1 枚を全戸配布いたしました。今のところ反応とかはありませんが、希望があつて配付できたことが一歩前進かなと思います。城原小学校については、6 月 17 日月曜日に総務部会との意見交換会を行います。城原小学校は昨年保護者に対しての意見交換会が出来ておらず、全体に対していきなり開催するのではなく、まずは総務部会と意見交換を行うこととなりました。こちらも地元からの中止の申し出があつて、統合検討委員会を開催できていませんので、その説明から行う予定です。それから、今年度をもって南部小学校と統合する菅生小学校については、5 月 24 日閉校記念式典についての拡大実行委員会において、挨拶する機会をいただきました。最後の 1 年が思い出深いものとなるよう協力すること、また、跡地活用についても自治会のみなさんの協力をいただくことをお願いしました。なお、来年度運行するスクールバスについても利用の有無、乗降場所についての第 1 回目の logo フォームによるアンケートを菅生小、南部小、竹田南部中の該当する児童生徒と、来年度入学予定の未就学児について行っております。今後、詳しい内容について保護者と協議していく予定です。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。学校教育課から 2 点です。1 点目です。6 月 28 日に、キャリア教育の一環として今年度も「タケタカタロー」を開催します。今年度は、竹田市で農業に従事して頑張っている方々 4 名に来ていただき、仕事に対する思いや竹田市との関わりについて語っていただきます。進行は、今年度も竹田高校出身の藤村アナウンサーをお願いしています。生徒たちが、農業や竹田で農業に従事している方々に関心をもち、自分の生き方について考える機会になることを期待しています。2 点目です。先程、行事予定表でお伝えしましたが 6 月 20 日は中体連陸上大会です。休日の部活動の地域クラブ移行したことに伴い、今年度、竹田支援学校の生徒が TAKETA T&F の方からエントリーします。竹田支援学校の生徒が竹田市の支部内の予選に参加できることがとても嬉しく思っています。お時間が許せば、「タケタカタロー」、中体連の応援に来ていただければと思います。よろしく申し上げます。

志賀教育長

藤島生涯学習課長。

藤島生涯学習課長

生涯学習課からは 5 月に開催されました 4 件の事業の報告と、6 月に予定されます 2 件の事業について報告をさせていただきます。まず、1 点目は、第 58 回九州高校女子ソフトボール選手権大会です。5 月 10 日から 12 日にかけて、各県 2 チームの予選を経て 16 チームで熱戦が繰り広げられました。10 日の開会式に、教育委員の皆さんもお越しいただき、感謝申し上げます。最終的には 12 日が雨となったため、決勝戦を行うことができず、長崎県代表の向陽高校、それから鹿児島県代表の神村学園高等部が両校優勝で閉会したところであります。2 点目は 5 月 20 日から、竹田地域町内対抗ナイターソフトボール大会が開催され、城原万葉の里が優勝しました。5 月 28 日の合同新聞にも掲載をされたところであります。3 点目は、5 月 21 日から今年度の市民教養大学が、竹田学級を皮切りに開催されました。その日の午後には、直入が開校し、22 日に荻、23 日に久住と 4 地域でそれぞれ開校されました。今後、3 月の生涯学習まつり

まで、全7回の市民教養講座が開催をされるということになっております。4件目は5月25日に竹田丸福陸上競技場において、陸上競技協会主催、教育委員会後援の、陸上教室&トライアルフェスタが開催をされました。第1部として、教育長と大塚祥平選手のトークセッションで始まり、小学生、保護者等、約60名の方が聞いておられました。2部の陸上教室においては、72名の子どもたち、3部のトライアルフェスタには105名の子どもたちが参加をするという一大イベントになりつつあります。日差しが非常に強くて、熱中症等心配されましたけど、1人の体調不良者も出ずに、盛大に終わりました。それから6月以降の予定として、6月16日の日曜日に第20回竹田市民球技大会が開催されます。8種目53チーム、今年569名の選手が出場するということになっておりますけれど、昨年に比べて若干減っているというのが現状です。コロナ禍以降それぞれの地区が、なかなか選手を集めることに苦労しているというのが、現状だろうというふうに思います。今年についても、地区の方が選手を集めていただきましたので、6月16日に開催します。次に、5月31日に大分トリニータの小野賢治取締役が市長室に尋ねて来られました。土居市長と私と倉原係長3名で対応させていただきましたが、竹田市においても、大分トリニータとの連携協定を結んでいただきたいというお願いに来られました。今、連携協定を結んでいるのは、宇佐市と佐伯市の2市だけということになっています。宇佐市においては、トリニータの選手、スタッフと農業コラボ事業ということで、連携協定を結んでおりますし、佐伯市においては佐伯オーガニックシティを目指すということで、それぞれの行事にトリニータ選手をお招きして、連携をしているところであります。竹田市においても、連携協定を早急に結んでいきたいと思っております。農政課のトウモロコシ、それから商工観光課のイベント等に、可能な限り選手を呼んで、盛り上げられたらいいのではないかとということで、6月27日の定例課長会議の中で提案をしながら、それぞれの課に、どうことができるのかということを確認させていただきたいと思っております。また、その日の午後に定例記者会見がありますので、これに合わせて、協定を結んでいきたいと、今着実に準備を進めているところであります。以上です。

志賀教育長

佐藤まちづくり文化財課長。

佐藤まちづくり文化財課長

はい。まちづくり文化財課からです。5月28日に久住高原農業高校の協力をいただいていた予定していた、大船山入山公墓所の清掃ボランティア活動は、雨天のため中止となりました。ここ数年実施できておりませんが、来年に向けての協力体制についてはこのまま維持していきたいと思っております。以上です。

志賀教育長

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい。歴史文化館です。展示について連絡させていただきます。6月30日まで、令和6年度企画展「竹田の鉄道 百年の歩み」展を開催しています。大正13年に観光の拠点として豊肥本線の「豊後竹田駅」が開業し、今年が開業100年となります。企画展では蒸気機関車から現代に至るまでの鉄道写真や鉄道に関連する歴史的資料を展示し、竹田の鉄道100年のあゆみを紹介しております。豊後竹田駅や鉄道の変遷とともに鉄道を支えてきた人々に思いをはせながら、ゆっくりとご覧いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	給食調理場からは2つございます。まず一つ目が、教育総務課長の行事日程にもありましたが、あ祖母学舎の宿泊体験交流学习において2日目に学校給食を提供します。21日は祖峰小と直入小のグループで26名、28日は久住小・都野小・直入小のグループで30名の給食を予定しています。次に新しい試みですが、7月1日(月)に竹田市教育保育協議会から竹田中央調理場に視察研修の受入要望がありました。管内保育園の栄養士や調理員が、施設見学のほか、給食の状況や衛生管理について意見交換を致します。以上です。
志賀教育長	図書館について、羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。図書館から特にございません。
志賀教育長	皆さん、ご意見、ご質疑等はありませんか。
藤島生涯学習課長	教育長すいません。もう1点よろしいでしょうか。
志賀教育長	生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	先程の行事予定の中にありませんでしたので、ちょっと洩れましたけれど、6月11日に、幼稚園の保護者参観があります。そのあと10時から、グランツキナーレの方で、家庭教育フォーラムをさせていただこうというふうに思っています。複合スペース marble の作業療法士の津田健吾先生をお招きして、個性を伸ばすということを中心に、n=1 というような形で、講演をいただくことになっておりますので、もしお時間があれば、ぜひご参加いただければというふうに思っています。以上です。
志賀教育長	では、教育委員の皆さんからご意見、ご感想等があれば発言いただきたいと思えます。進委員からお願いします。
進委員	はい。私からの2点お話ししたいと思えます。まず1点目ですが、緑ヶ丘中学校の体育祭に行ってきました。生徒の皆さんがとてもよく頑張って素晴らしい大会でしたが、緑中は40分の休憩時間があった、その後に3競技ありました。ご案内いただいた時に、3競技を押し詰めればすぐ終わりではないかなと思ったのですが、行って見て休憩時間の皆さんの様子を見てこの時間は大切だなと思えました。軽食と書いてあったんですが、皆さんお弁当を持ってきて、子どもさんと保護者、またその近所の方々が来て、みんなでワイワイお弁当食べて、いろいろお話ししながら、競技のこととかもお話ししながら、過ごされてる時間を見て、尊いなと思って、コロナを通してちょっと時短とかになって、また、暑さもあるし、何が正しくて、正しくないかわからないのですが、ああいう時間も大切だなあと感じたことをご報告したいなと思って、今お話ししました。それと、ここで言うことかちょっとわからないのですが、5月の初めに、愛媛でカーブミラーが倒れて子どもさんが怪我をしたというニュースを聞いた後に、今度は大分の日田の方で、標識が倒れて、小学生のお子さんが怪我をしたとい

う事故を聞いて、私もそれ以降、運転しながらとか、ちょっとウォーキングをしながら、街の様子を見たら、やはり錆びている標識があったりとか、カーブミラーがあったり、また街灯とか古くなっているものがあったり、草むらの中にあたりすると、根本が見えないとかもあるので、学校ごとに危険通学路の、確認を毎年やっていると思いますが、私もしましたが、そういうときに既存のものに対して、目をやることがなかったのも、そういった点も大事なのかなあと思いました。以上です。

志賀教育長

吉野委員、お願いします。

吉野委員

はい。私は直入中学校の体育大会に行ってきたのと、昨日の直入中学校PTA意見交換会に行かせていただいたので合わせての感想になります。直入中学校の保護者の方からも昨日、十分に子ども達が成長していて、人数が少なくても、人数が多い環境を求めるには至っていないという意見でした。確かに体育大会を見た時に私も非常に感動させられたところがありました。人数が少ないとどうしてもその役割が固定化されたりとか、競争心が芽生えなかったとかそういうことが心配されることが多いと思いますし、私も自分の子育ての中で、そういう場面を何回も見てきたし、そういう心配はいつもしているんですけども、それを見事にはね返すような、一人一人が輝いていて、新しい一面を見せてくれる子がとても多かったです。なので、人数が少なくても、新しい自分に挑戦するエネルギーがあるんだっていうことを、十分に見せつけられたような感じがいたしました。それは昨日の統合の意見交換会の時に、渡邊課長から、冒頭に、子どもの人間的な形成、豊かな人間形成のために、その生の人間関係や触れ合い、意見のやりとりがいかに大事かっていうお話があったと思う。私は、すごく響いているんですけども、それに今の直入中学校の子どもたちの間で起こっているその人数が少ないながらも、豊かな育ち合いというのが全く逆行するものではないというか、どこかに共通点があるような気もするので、どうやったらこういう成長が、統合が先延ばしになっていく気配なんですけども、この人数が少ない状況が何年も続く間に、人間的な成長の部分を、今回の体育大会で見せてくれたような姿を、これからも後に続いていくためには何が必要なのか、何が効果があるのか、教師の助言なのか、友達からの称えあいなのか、家庭での励ましなのかそういう面を、何がよかったのかっていうことを探していきたいなというふうに深く考えたところです。また、卒業式、入学式、体育大会と立て続けに行事ですばらしい姿を見せてもらったので、本当にそれを見ている地域の方々も、統合を求める気持ちにはなかなか近づかないんじゃないかなというふう実感しています。しかしながら市教委の方の提案もよくわかるので、足りないのは何かなんて考えたら、やっぱり普通の授業の様子であるとか、それを見る機会が少ない。特にその地域の年代の違う方、ご自分が中学時代に、ものすごくたくさんの人数がいた中学時代を過ごされた方とかにはなかなか想像がつかない状況じゃないかなと思うので、その辺の情報が広がると、少しきっかけにはなるのかなということと、また、今の竹田中学校の様子なんかを、生徒や保護者や先生方の口からお聞きできる機会があれば、関心が寄せられるのかなということ、また、羽田野課長もおっしゃいましたけど、統合の意見交換会に参加されなかった方のご意見、また、今回は中学校だけでしたけど、小学校の保護者の方のご意見など、なかなか今表に出てきてないものを拾い上げていくっていうのも必要なことかなというふうに思いました。また時間をかけ

てじっくりと、検討していくっていいんでしょうか。気になります。統合検討委員会が立ち上がってしまったら、どんどんと統合に近づく一方なんじゃないかっていう誤解は昨日、すっかり解けたと思いますが、この次、統合検討委員会をできれば立ち上げないで欲しいというはっきりした要望も出ましたけども、市教委の方からは統合検討委員会を立ち上げませんかというアプローチしかないというか、そのタイミングをいつにするかっていうことなのかなと思いますので、情報収集しながら、様子を見ながら、機会を待ちたいと思います。もう1つ報告がありまして、5月23日に直入小学校の方でありました幼保小合同研修会というのに参加してきました。架け橋プログラムに関する調査研究のことなんですけど、作業療法士の方を講師にお招きして、これまでも体幹を鍛えるっていうようなことをされていたお話を聞いていたんですけど、私はその、単純に体操をしているものだと思っていました。姿勢を保持するために必要な体幹を鍛える、そういう運動をする機会をふやす、そういうことだと思ってはいたんですけど、ちょっとそれは誤解でした。とても奥が深いもので、理学療法士の方の解説で、脳のメカニズムと筋肉の働きとの解説をしながら、1時間の1年生の算数の授業の、その流れの中に、その時の場面はこういうことだったんですよっていうようなことを振り返りながら、いろんなことを教えていただいて、ものすごく勉強になりました。勉強をすることで、1時間の限られた授業の中で、理解度を深めたり、子どもが落ち着いて座っていられたり、適度に動作を含むことで、集中力が維持できたりするっていうことがわかったので、本当にこれは意義深い研修だなというふうに思ったので、さらに広げていっていただけたらなというふうに思いました。参加の機会をいただけて大変ありがとうございました。以上です。

志賀教育長

岡委員、お願いします。

岡委員

はい。私の方からは、先月の活動報告と1件提案と質問をさせていただきたいと思います。今年度、教育ビジョンの不登校対策にも関連することなんですけど、先月、大分市で開校をしてから6年目になる未来学園という通信制の高校の代表の方とお話をする機会がありました。ここは学校法人の河原学園未来高等学校の高校卒業資格を取得するためのサポートということで、大分、佐伯校と合わせて130名程の生徒が在籍されていらっしゃるそうです。要は中学時代に不登校だった生徒とか、高校に進学したけど、何らかの理由で高校に通うことが難しくなった生徒の転校先として受け入れて、高校卒業と進学・就職支援を行うところです。実はこの代表の方は私の以前の職場仲間だった方で、42歳と若いんです。5年前ですけど、彼が、高校卒業を出来ていない方たちをとにかく支えたいと言って、学校の立ち上げをしていたのを知っていたんですけど、先月の3月、ふとテレビを見ていると、そこの学園から、無事に56名の子どもたちが巣立ったというニュースを聞いて、わずか5年でよくここまで立ち上げたなという驚きです。今年の入学式には66名の、過去最多の仲間が入ったということで、それだけニーズが確実にあるっていうことはよくわかりました。いろいろ話す中で、1つは高校進学には多くの選択肢があるということを改めて知りました。印象深かったのは、1つはここに来るまでは、自分のペースで学べなかったという子どもたちがかなりいたということと、あと親御さんが、ここにたどり着いてやっと安心ができたと言ってくれたことが印象に残っています。思ったことなんですけど、多様な選択肢を知って、先々の見通しができて

くれば、親御さんも安心ができる。親御さんの安心がイコール子どもたちの安心に繋がるんじゃないかなということもあって、1つ提案ですが、不登校の児童生徒や保護者の方が有益な情報が得られるように、教育委員会の相談窓口といったものを整理されて、義務教育の後のビジョンも含めてその教育支援センターとか保護者の集まりとか、フリースクールとかわかりやすい情報提供する体制づくりがやっぱりいるのかなというふうに思って、例えば、竹田市のホームページのポータルサイトに、大きく教育相談窓口的なバナーを貼り付ける。一元的にそこで窓口を設ける。今日の合同新聞にもあったんですが、ヤングケアラー問題とか、理想を言えば、福祉とか介護とか医療とか含めた、総合の子ども支援窓口のようなものがあるといいかなあという気がします。各課の方々に一生懸命やっていたらいいんですけど、どこにどうアプローチしていけばいいかというときに、非常にわかりづらいかなという気がします。あと1つ質問ですけど、先程、教育長報告の中でサフランの総会があったということで、市としてサフラン支援体制というのが不登校対策のメインになると思うんですけど、その総会の様子というか、成果と課題ですとか印象に残ったエピソードとかあれば教えていただきたいのと、昨年度、巣立った子どもたちの進路とかわかる範囲で教えていただければ。以上です。

志賀教育長

はい。では今出されたサフランの成果、課題という質問、それから不登校の相談窓口体制づくりといった提案がありましたが、答えられればお願いします。学校教育課長。

渡邊学校教育課長

不登校の児童生徒それから保護者さんの相談窓口というところでは、例えば特別支援教育に関わる相談窓口であれば、社会福祉課、学校教育課でも受けているし、サフランでも受けていますが、「不登校に関わる相談窓口」という、文書やチラシ等はないので、この後検討したいと思います。ありがとうございます。今現在はサフランの相談員が、そういう相談窓口という形にはなっていますが、サフランに通室し始めた保護者さんは、お迎えに行くときとか、定期的に面談を通して相談されていますが、本当にどこに相談したらいいかわからないという方は、相談するところがないなあと思います。早急に検討したいと思います。それから、2点目サフランの総会の様子ですが、サフラン教育支援センターが出来たときに、教師のOBの方々が、そういう子どもたちの居場所ということで、立ち上げたということの確認をする会でもあります。合わせて、竹田市の不登校支援対策をお伝えすると、サフランの現状と今行っていること等を紹介した後、人間関係づくりプログラムについての研修を行いました。特に印象に残っているのは、昨年度からの取り組みではあるのですが、今年度、給食のメニューを見て、これと、これとこのメニューを食べたいからこの日とこの日とこの日に来るというお子さんが出てきたということが報告されました。去年はなかなかサフランの方に足が向かなかったお子さんが、来れるということで本当にサフランに給食を提供していただけたことがありがたいと思います。ありがとうございます。それから、竹田中学校と竹田南部中学校の方に適応指導教室をそれぞれ設けてそれぞれの学校で不登校支援をするようになったのですが、支援員の方々も、サフランのスタッフと一緒に協議をしたり、お互いにできること、例えば、中学校の方の教室に今日は誰も来そうにないという時にサフランに行って支援したりとかまた、アウトリーチに行って、家庭にいる子どもたちがどうしてるということ把握できる人間がまた、増えたことは成果

としてあげられるのではないかと思います。

志賀教育長

学校教育課の中では、横川指導主事が不登校については親身に丁寧に対応しております。それから、スクールソーシャルワーカー、サフランのスタッフそれと登校支援員、そういった、相談体制は手厚いとは思っています。今、岡委員の言われた、ホームページにバナーを張るなど、どうやって相談することにたどり着くか。学校を通じて相談するとか、直接相談がある場合もありますし、福祉を通じて、という場合もあると思いますが、もっと、こうした方が相談できないとか、気がついてないかもしれない、という家庭もあるかもしれませんので、学校教育課長が説明しましたように、検討を重ねていかなければと思います。他にないでしょうか。よろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

吉野委員から出されました少人数教育の件についてです。統合の話し合いに行って、どこでも言うことですが、少人数教育のきめ細かい指導のあり方、支援のあり方には、素晴らしいものがありますし、小さい学校を否定するわけではありません。もちろん皆さんよく理解されていると思いますが、学校がある限りは努力をしていかなければならないと思っています。ただ、自分が久住中に勤務していたときに、生徒も保護者の家庭も久住中はナンバーワンと信じていました。自分自身も、これほどいい学校はないと思っていましたが、音楽祭では、竹田南部中に打ちのめされたように感じました。説明を聞いてもなかなかわからないことで、実際にそういうものを見ないとわかるものではありません。どうしてもわからないというか、納得できないことがあると思います。また、竹田市に戻る前は、1,300人くらいの学校にいましたので、勉強もスポーツも生徒会活動もレベル違いの生徒がいるのです。竹田中が大きいと言っても、けたがちがいます。例えば、生徒会で仕切る人はアナウンサー顔負けですし、全国大会、九州大会に行く生徒数は、竹田中の全校生徒分ぐらいがあったりします。しかし、そういった学校というのは適正規模とは言えません。多すぎて、やはり取り残されている生徒ももちろんいます。標準の規模には、竹田市の中学生全部集めてもちょっと足りない、標準の規模にはならないんですけど、こちらが考える適正の規模に近づきたいなという思いは持ちながら進めているところです。なかなかうまくいかないところもありますが、続けていかなければということです。他によろしいでしょうか。

では以上で、第6回定例会を閉会します。

(閉会)

[閉会時刻:午後3時48分]